

1. 調査の概要

1. 調査の概要

1-1. 調査の背景と目的

(1) 県外客の旅行内容と観光収入の推計

県経済の自立的な成長にとって観光産業の重要性は増してきており（平成 27 年度観光収入 6,022 億円）、観光産業を振興するため、また、戦略的な観光施策や観光地づくりを進めていくうえで、観光客の属性や行動、観光消費単価などの観光統計を継続的に整理することが求められる。

こうした中、沖縄県は国内線を利用して出域する観光客を対象とした航空乗客アンケート調査を毎年実施することで、旅行者の属性、旅行内容、消費額等を四半期毎に整理し、観光消費単価と観光収入の推計を行っている。平成 26 年度からは石垣空港、宮古空港においても調査を実施し、離島空港から直接県外に出域する県外客マーケットや消費額の状況も調査している。

(2) 観光客の満足度の把握

入域観光客数の増加や観光客 1 人当たり県内消費額の増加を図り、観光収入を高めるためには、沖縄観光の魅力をより一層向上させて観光客の満足度を高め、リピーターの増加や口コミ効果の発揮を図ることが必要となってくる。そこで平成 27 年度は、観光客の満足度や再訪意向、推奨意向と、その要因を把握する項目別の満足度調査を実施し、過去の調査結果（平成 21 年度、平成 24 年度）との比較を行った。

(3) 主要離島における観光動態や観光消費単価の把握

入域観光客数 1,000 万人を目指していく中では、沖縄本島だけでなく主要離島においても県外客の受け入れを増やしていくことが求められている。そのためには、主要離島ごとに、沖縄本島などの圏域外から来訪する県内客も含めた、圏域外客の観光動態を把握することが必要である。平成 26 年度からは、石垣空港、宮古空港、久米島空港においても調査を実施し、八重山圏域（石垣市、竹富町、与那国町）、宮古圏域（宮古島市、多良間村）、久米島における圏域外客（県外客および圏域外県内客）の観光動態および観光消費単価について調査している。

1-2. 調査の構成

図表 1-1 調査の構成（航空乗客アンケート）

調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行者の属性（居住地、性年代、旅行回数等） ・ 旅行内容（活動、同行者、宿泊日数、消費額等） ・ 旅行の期待度・満足度 （旅行全体、宿泊施設、観光施設、飲食施設等について詳細な質問を設定）
調査時期	<p>○那覇空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成27年6月19日（金）、21日（日） ・ 第2回 平成27年7月24日（金）、26日（日） ・ 第3回 平成27年11月6日（金）、8日（日） ・ 第4回 平成28年2月5日（金）、7日（日） <p>○石垣空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成27年6月12日（金）、14日（日） ・ 第2回 平成27年8月9日（日）、9月4日（金） ・ 第3回 平成27年11月27日（金）、29日（日） ・ 第4回 平成28年2月12日（金）、28日（日） <p>○宮古空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成27年6月12日（金）、14日（日） ・ 第2回 平成27年8月9日（日）、9月11日（金） ・ 第3回 平成27年10月30日（金）、11月1日（日） ・ 第4回 平成28年2月19日（金）、21日（日）
実施空港	那覇空港、石垣空港、宮古空港
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機を利用して県外へ出域する日本人客を対象に調査票を配布（石垣空港、宮古空港については、県外に直行する便に搭乗している日本人客を対象）。配付数は、各便の座席数に応じて比例配分している。 ・ 修学旅行生は調査対象者から除いている。
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査員が搭乗待ちの観光客に調査票を返信用封筒とともに手渡し、郵送（料金受取人払）にて回収した。 ・ 調査票は、那覇空港を冊子6ページ、石垣空港と宮古空港を冊子8ページとした。
配布数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13,330 票 ○那覇空港：12,000 票（各回3,000 票） ○石垣空港：1,173 票（第1回314 票、第2回292 票、第3回279 票、第4回288 票） ○宮古空港：157 票（第1回56 票、第2回50 票、第3回28 票、第4回23 票）
回収数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4,233 票 ○那覇空港：3,736 票（第1回843 票、第2回961 票、第3回954 票、第4回978 票） ○石垣空港：445 票（第1回97 票、第2回116 票、第3回109 票、第4回123 票） ○宮古空港：52 票（第1回25 票、第2回17 票、第3回9 票、第4回1 票）
回収率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 31.8%（那覇空港：31.1%、石垣空港：37.9%、宮古空港：33.1%）

図表 1-2 調査の構成（主要離島来訪者アンケート）

調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行者の属性（居住地、性年代、旅行回数等） ・ 旅行内容（活動、同行者、宿泊日数、消費額等） ・ 旅行の期待度、満足度（旅行全体、宿泊施設、観光施設、飲食施設等について詳細な質問を設定）
調査時期	<p>○石垣空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成27年6月12日（金）、14日（日） ・ 第2回 平成27年8月9日（日）、9月4日（金） ・ 第3回 平成27年11月27日（金）、29日（日） ・ 第4回 平成28年2月12日（金）、28日（日） <p>○宮古空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成27年6月12日（金）、14日（日） ・ 第2回 平成27年8月9日（日）、9月11日（金） ・ 第3回 平成27年10月30日（金）、11月1日（日） ・ 第4回 平成28年2月19日（金）、21日（日） <p>○久米島空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成27年6月12日（金）、14日（日）、26日（金）、28日（日） ・ 第2回 平成27年8月7日（金）、9日（日）、21日（金）、23日（日）、9月4日（金）、6日（日） ・ 第3回 平成27年10月30日（金）、11月1日（日）、13日（金）、15日（日） ・ 第4回 平成28年2月14日（日）、19日（金）、21日（日）、26日（金）
実施空港	石垣空港、宮古空港、久米島空港
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機を利用して圏域外へ出域する日本人客を対象に調査票を配布（圏域外に居住する沖縄県民含む）。配付数は、各便の座席数に応じて比例配分している。 ・ 修学旅行生は調査対象者から除いている。
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査員が搭乗待ちの観光客に調査票を返信用封筒とともに手渡し、郵送（料金受取人払）にて回収した。 ・ 調査票は冊子8ページとした。
配布数	<p>○石垣空港：2,798票（第1回754票、第2回636票、第3回698票、第4回710票）</p> <p>○宮古空港：1,566票（第1回376票、第2回363票、第3回442票、第4回385票）</p> <p>○久米島空港：1,173票（第1回258票、第2回382票、第3回275票、第4回258票）</p>
回収数	<p>○石垣空港：877票（第1回208票、第2回213票、第3回219票、第4回237票）</p> <p>○宮古空港：431票（第1回126票、第2回123票、第3回122票、第4回60票）</p> <p>○久米島空港：387票（第1回99票、第2回135票、第3回84票、第4回69票）</p>
回収率	<p>○石垣空港：31.3%</p> <p>○宮古空港：27.5%</p> <p>○久米島空港：33.0%</p>